

視点

- 1** ポストコロナに向けたインフラ整備
 ■一般社団法人建設コンサルタンツ協会 北陸支部 支部長
 開発技建(株) 代表取締役社長 寺本 邦一

地域の動き

- 3** 「水郷の花嫁さんは船で行く」
 嫁入り船復活プロジェクト
 ■横越コミュニティ協議会

技術レポート

- 5** H30梯川千代築堤他工事における取組み、
 利害関係の改善
 ■(株)江口組
- 9** 高速道路リニューアルプロジェクト
 北陸自動車道 栄橋・貝喰川橋の床版取替について
 ■東日本高速道路(株) 新潟支社 長岡管理事務所
- 11** NEXCO中日本 金沢支社管内 E8北陸自動車道
 リニューアル工事(床版取替工事)の実施状況報告
 ■中日本高速道路(株) 金沢支社 高速道路事業部 構造技術課
- 13** 妙高大橋架替舗装工事
 北陸地方整備局管内における連続鉄筋コンクリート舗装
 ■福田道路(株)



阿賀野川と小阿賀野川を結ぶ満願寺
 閘門を通る嫁入り船▶P.3



3DMGを搭載したロングアーム
 バックホウ▶P.5



ロードジッパーシステム
 (高瀬橋での活用例)▶P.9



壁高欄と床版の一体架設の状況▶P.11



連続鉄筋設置状況▶P.13



■金沢城公園 鼠多門・鼠多門橋の復元整備工事

令和2年7月、金沢城の西側に位置する玉泉院丸にあった鼠多門と、隠居した藩主などが暮らした金谷出丸(現在の尾山神社境内)を結ぶ鼠多門橋が復元整備され、金沢城公園に新たなエントランスが完成しました。

鼠多門の特徴は、海鼠壁の色。海鼠壁とは、壁に貼った平瓦の目地に、漆喰をなまこのように盛り上げて塗った壁のこと。通常は白い漆喰ですが、鼠多門では全国の現存する城郭建築では例のない黒漆喰を用いています。鼠多門橋は城郭景観と調和する木橋の外観としながら、内部には鋼材を用いることで高い耐久性や耐震性も備えています。

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 15** 工事における歩掛調査と諸経費動向調査について
 ■北陸地方整備局 企画部 技術管理課

- 17** 公道で全国初!しゃべるマンホール蓋
 社会実験の紹介について
 ■新潟市下水道PRプロジェクトチーム

職場紹介

- 19** “現在を懸命に 未来を真剣に”
 主役は現場、仕事も安全も現在進行形
 ■松本建設(株)

先輩なう!

- 21** 新潟をよりよいまちにするために
 ■新潟市江南区役所建設課 土田 美空さん

新技術情報

- 23** NETIS登録技術
 ■令和2年度登録技術
- ・止水板クリッパー
 【登録番号:HR-200004-A】 (株)サンリツ
 - ・こんにゃく充填剤
 【登録番号:HR-200005-A】 (株)ジオックス



選手の声聴く子どもたちの様子
 ▶P.17



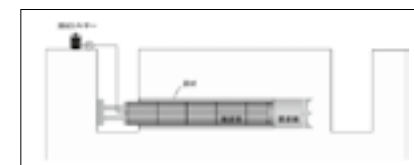
平井高潮堤防工事(関東地整)▶P.19



新潟市江南区役所建設課
 土田美空さん▶P.21



止水板クリッパー(設置図)
 ▶P.23



こんにゃく充填剤(推進工における滑材注入工概略図)▶P.23



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
 E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp